

## 2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床支援技術学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次	学期及び曜時限	後期	教室名	402
担 当 教 員	新井 篤史 他	実務経験と その関連資格	島根大学医学部付属病院MEセンターにて臨床工学技士として勤務経験あり		

## 《授業科目における学習内容》

臨床工学技士が関わる医療支援について、各領域での臨床工学技士に求められるエビデンスに準じた知識や技術を学ぶ

## 《成績評価の方法と基準》

定期試験点：70%

通常点(J-Web等の課題点)：30%

## 《使用教材(教科書)及び参考図書》

- ・臨床工学技士標準テキスト
- ・配布プリント

## 《授業外における学習方法》

毎回授業の内容を自宅にて復習。定期的に行うWebを使用した課題への取り組み

## 《履修に当たっての留意点》

講義中に解らないことがあれば質問を行い講義内容は把握することに努める。

また、自宅学習で復習を行い、講義内容で解らないことがないように努める。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回 講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	医療支援に携わる臨床工学技士の知識に説明できる	臨床工学技士 標準テキスト	
	各コマに おける 授業予定	医療現場で使用される医療技術と臨床工学技士との関りについて (オリエンテーション)		
第2回 講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	胸部疾患に関わる臨床工学技士業務について説明できる	臨床工学技士 標準テキスト	前回の講義のまとめ
	各コマに おける 授業予定	胸部疾患と臨床工学技士の業務について	配布プリント 等	
第3回 講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	頭部疾患に関わる臨床工学技士業務について説明できる	臨床工学技士 標準テキスト	前回の講義のまとめ
	各コマに おける 授業予定	頭部疾患と臨床工学技士の業務について	配布プリント 等	
第4回 講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	腹部疾患に関わる臨床工学技士業務について説明できる	臨床工学技士 標準テキスト	前回の講義のまとめ
	各コマに おける 授業予定	腹部疾患と臨床工学技士の業務について	配布プリント 等	
第5回 講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	急性期医療に関わる臨床工学技士業務について説明できる	臨床工学技士 標準テキスト	前回の講義のまとめ
	各コマに おける 授業予定	急性医療と臨床工学技士の業務について	配布プリント 等	

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ショック時における輸血・輸液療法について理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
		各コマにおける授業予定	ショック時の輸液コントロールと臨床工学技士	配布プリント 等	
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	慢性期医療に関わる臨床工学技士業務について説明できる	臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
		各コマにおける授業予定	慢性期医療と臨床工学技士の業務について	配布プリント 等	
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	内分泌系の疾患に関わる臨床工学技士の業務について説明できる	臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
		各コマにおける授業予定	内分泌系の疾患と臨床工学技士の業務について	配布プリント 等	
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	食事管理と血糖管理について理解し説明できる	・臨床工学講座 医用治療機器学	前回の講義のまとめ
		各コマにおける授業予定	血糖コントロールと食事管理について	・臨床工学技士標準テキスト	
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	免疫・感染症系の疾患に関わる業務について説明できる	・臨床工学講座 医用治療機器学	前回の講義のまとめ
		各コマにおける授業予定	免疫・感染症関連疾患に関わる臨床工学技士業務について	・臨床工学技士標準テキスト	
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	敗血症にの診断(SOFA , q-SOFAなど)を理解し説明できる	・臨床工学講座 医用治療機器学	前回の講義のまとめ
		各コマにおける授業予定	敗血症 ①	・臨床工学技士標準テキスト	
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	敗血症に関わる治療について理解し説明できる	・臨床工学講座 医用治療機器学	前回の講義のまとめ
		各コマにおける授業予定	敗血症 ②	・臨床工学技士標準テキスト	
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	昇圧剤と降圧剤について理解し説明できる	・臨床工学講座 医用治療機器学	前回の講義のまとめ
		各コマにおける授業予定	血管作動薬と抗不整脈剤 ①	・臨床工学技士標準テキスト	
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	血管作動薬と抗不整脈薬について理解し説明できる	・臨床工学講座 医用治療機器学	前回の講義のまとめ
		各コマにおける授業予定	血管作動薬と抗不整脈剤 ②	・臨床工学技士標準テキスト	
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	集中治療領域の臨床工学技士業務について理解し説明できる	・臨床工学講座 医用治療機器学	前回の講義のまとめ
		各コマにおける授業予定	集中治療と麻酔	・臨床工学技士標準テキスト	